

23日山協指導発第2号

平成23年4月15日

都道府県山岳連盟（協会）

理事長 殿

指導委員長 殿

競技委員長 殿

社団法人 日本山岳協会

指導委員長 永井 豊

（公印省略）

平成23年度山岳指導員（スポーツクライミング）養成講習会開催について

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は本会の事業について多大のご支援とご協力を賜り、誠に有り難うございます。

本年度も、山岳指導員（スポーツクライミング）の養成講習会を実施することになりました。つきましては別紙開催要項をご参照の上、参加者を募っていただきたく、お願い申し上げます。

記

1. 期 日 平成23年7月16日（土）～17日（日）および
平成23年7月30日（土）～31日（日）および
2. 会 場 神戸市登山研修所
3. 受講申込 受講申込書に必要事項を記入の上、（社）日本山岳協会へ提出願います。
その後、受講者が内定しましたらご連絡致します。
（申込み期限6月30日必着）
4. 受講料 開催要項参照
5. 問い合わせ （社）日本山岳協会 指導委員会
〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1
TEL 03-3481-2396
FAX 03-3481-2395
E-MAIL info@jma-sangaku.or.jp

以上

平成 23 年度 財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者養成講習会
山岳指導員（スポーツクライミング）養成講習会 専門科目 開催要項（案）

1. 目 的

地域スポーツクラブ等において、スポーツに初めて出会う子どもたちや初心者を対象に、競技別の専門的な知識を活かし、個々人の年齢や性別などの対象に合わせた指導にあたりるとともに、施設開放において利用者の指導支援を行う者を養成する。

2. 主 催 財団法人 日本体育協会
社団法人 日本山岳協会

3. 主 管 兵庫県体育協会
兵庫県山岳連盟

4. 後 援 文部科学省
兵庫県教育委員会（予定）

5. カリキュラム

専門科目 40 時間以上（集合講習 30 時間以上、その他 10 時間以上）

※兵庫県山岳連盟が主管して実施する。

※講習及び試験の免除措置については、(社)日本山岳協会が定める基準による。

6. 開催期日 平成 23 年 7 月 16 日（土）～17 日（日）および 7 月 30 日（土）～31 日（日）

7. 開催場所 神戸市登山研修所

8. 受講者

（受講条件）

（1）受講する年の 4 月 1 日現在、満 20 歳以上の者で、5. 10 をリード出来る者。

（2）地域においてスポーツ活動を実施しているクラブやグループ、スポーツ教室で実際の指導にあたりしている指導者及びこれから指導者になろうとする者。

（受講者数）

受講者数は、各競技 20 名程度とする（特に上限は定めない）。

9. 受講申込み

（1）受講申込みは各都道府県山岳連盟（協会）を通じて(社)日本山岳協会へ行う。

（2）受講希望者は、所定の受講申込書に必要事項を記入し、免除該当者は所定の必要書類を添付し、6 月 1 日（水）～30 日（木）までに提出する。

10. 受講料

専門科目：32,000 円（消費税込み）

（上記金額は、日山協がおこなう専門科目のみの受講料です）※保険費用含む

※日体協の共通科目受講料および宿泊費は別途必要になります。（宿泊費は、宿泊希望者のみとなります）

※ 受講料の支払いは、各都道府県山岳連盟（協会）を通じて本人に通知する受講者内定通知書に基づき振込んでください。

※昼食は、各自でご用意ください。

1 1. 受講者の決定

各都道府県山岳連盟（協会）から提出された申込書などの関係書類に不備がない者を受講者として内定し、学校法人日本放送協会学園（NHK 学園）または各都道府県山岳連盟（協会）を通じて本人に通知する。

受講内定後、受講料の支払いを完了したものを受講者として決定する。

(1) 受講有効期限

受講者は原則として受講有効期限内（受講開始年度を含め 4 年間）に共通科目と専門科目のすべてを修了しなければならない。

なお、期限内に修了しない場合は、その時点で受講者としての権利をすべて喪失するが、専門科目講習会が有効期限内に実施されない場合はこの限りではない。

(2) 受講取消し

受講者としてふさわしくない行為があったと認められたときは、(社) 日本山岳協会指導委員会及び競技委員会で審査し受講が取り消される。

1 2. 講習・試験の免除

既存資格及び本会免除適応コースの履修等により講習・試験の一部または全部を免除することができる。免除に関する詳細は、別に定める。

1 3. 検定・審査

講習に基づく、検定・審査は、共通科目と専門科目に区分して実施する。

(1) 共通科目における検定試験は、通信教育（NHK 学園）課題検定による判定とし、(財) 日本体育協会指導者育成専門委員会において審査を行う。

(2) 専門科目における検定は、技能検定を主体に筆記試験などを加えた総合判定とし、(社) 日本山岳協会指導委員会及び競技委員会において審査する。

(3) 共通科目、専門科目のいずれもの検定に合格した者を「公認指導員養成講習会修了者」として認める。

1 4. 登録及び認定

(1) 共通科目及び専門科目の検定に合格し、その後、指導者登録（登録申請書の提出及び登録料の納入）を完了した者に、本会公認指導員「認定証」及び「登録証」を交付する。

(2) 登録による公認資格の有効期限は 4 年間とし、本資格を更新しようとする者は、資格有効期限内に、(社) 日本山岳協会の定める研修を受けなければならない。

（ただし、既に公認スポーツ指導者資格を有する者については、既所有資格の有効期限となる）

(3) 過去に何らかの本会公認スポーツ指導者資格を取得し、現在その資格が有効期限切れになっている場合、本養成講習会を修了しても登録管理システム上で有効期限切れ者としてデータが保存されているため、登録申請書を送付できないことがあるため注意すること。

1 5. その他

本講習会受講に際し、取得した個人情報は、(財) 日本体育協会及び各都道府県体育協会、(社) 日本山岳協会、各都道府県山岳連盟（協会）が本講習会の受講管理に関する連絡（資料の送付等）及び関係事業を実施する際に利用し、これ以外の目的に個人情報を使用する際は、その旨を明示し了解を得るものとする。

1 6. 問合せ先

社団法人 日本山岳協会 指導委員会

〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館 TEL : 03-3481-2396 FAX : 03-3481-2395

Eメール info@jma-sangaku.or.jp

平成23年度山岳指導員(スポーツクライミング)養成講習会 日程表

競技名 山岳(スポーツクライミング)

期日	第1日 7月16日(土)	第2日 7月17日(日)	第3日 7月30日(土)	第4日 7月31日(日)
9:00	集合・受付 開講式・オリエンテーション	基礎理論 9 競技(3H)	実技指導実習 1、2 クライミングの技術・安全(3H) (兼 実技検定)	実技指導実習 4、5 グレード(グレードイング)(3H)
10:00	基礎理論 4 医学 (2H)			
11:00				
12:00	昼食	昼食	昼食	昼食
13:00	基礎理論 5 法律 (1H)	基礎理論 7 グレード(1H)	実技指導実習 1、2 クライミングの技術・安全(3H) (兼 実技検定)	実技指導実習 6 競技(2H)
14:00	基礎理論 2、3 クライミングの技術・安全(2H) クライミング技術 安全対策	基礎理論 8 ルート、課題のセティング(1H)		
15:00		理論検定(1H)		実技検定(2H)
16:00	基礎理論 1 クライミングの基礎(2H) スポーツクライミングの歴史 クライミング競技の歴史	実技指導実習 1、2 クライミングの技術・安全(3H) (指導法)	実技指導実習 3 確保(3H) (兼 実技検定)	
17:00				閉講式・解散
18:00	基礎理論 6 確保(1H) 確保理論			
19:00				
時間数	8H	8H	9H	5H
宿泊の有無	有		有	

*会場、その他の事情により、日程表に変更がある場合があります。

平成 年 月 日

社団法人 日本山岳協会会長

殿

山岳連盟(協会)

会長

印

日体協・日山協公認山岳指導者養成講習会受講申込書(スポーツクライミング)

申し込み会場名(記入してください)		
申し込み資格(○で囲む)	指導員・上級指導員・上級コーチ・その他	
宿泊(○で囲む)	希望する・しない	
フリガナ		写真
氏名	性別 男 女	
生年月日(西暦) 年 月 日	満 歳	
〒		
現住所		
tel:	fax:	
携帯:	email:	
勤務先名		
所在地		
tel:		
所属団体名		
所在地		
代表者名	印	tel:
所属山岳連盟(協会)名 山岳連盟(協会)		
所在地		
tel:		
会長名		
email:		
(財)日本体育協会スポーツ指導者資格(○で囲む)(現在保有資格)		
スポーツリーダー・指導員・上級指導員・コーチ・上級コーチ・その他()		
登録番号()		

スポーツクライング指導者資格免除科目

区分	カリキュラム内容	時間	ルートセッター資格保有者	クライング審判資格保有者	団体運営委員資格保有者
共通科目Ⅰ	クライングの基礎	2h	免除	免除	免除
	クライングの技術・安全(人工壁)	2h	免除	免除	
	クライングの技術・安全(自然壁・アプローチ)	0h	免除		
	医学(ストレッチ・スポーツ外傷・ドーピング防止)	2h			
	法律(指導者の法的責任)	1h			
	確保	1h	免除		
	グレード(説明)	1h	免除		
	ルート、課題のセッティング	1h	免除		
	競技(ルール、審判、運営)	3h	免除	免除	
	クライングの技術・安全(人工壁)	9h	免除(但し指導法3Hを除く)		
実技指導 実習	クライングの技術・安全(自然壁・アプローチ)	0h			
	確保	3h	免除		
	グレード(グレードイング)	3h	免除		
	ルート、課題のセッティング	0h	免除		
	競技	2h	免除		
			3h	免除	

※スポーツクライング指導者は共通科目Ⅰを修得しなければならない。
 ※上級スポーツクライング指導者は共通科目Ⅰ及び共通科目Ⅱを修得しなければならない。

山岳指導者(スポーツクライミング)講習会受講申請者 クライミング履歴書

判定	記入日	年	月	日
	氏名			

【スポーツジム履歴および自然壁クライミング履歴】※指導員は、スポーツクライミング履歴でも可

年月	岩場名 及び ルート名	形状・内容	*1	グレード	スタイル	*2	備考
2000年 6月	記入例：ABCクライミングジム	(F) S・C・M・B		5.10A	(OS) RP・MS		東京 渋谷区
年月		F・S・C・M・B			OS・RP・MS		
年月		F・S・C・M・B			OS・RP・MS		
年月		F・S・C・M・B			OS・RP・MS		
年月		F・S・C・M・B			OS・RP・MS		
年月		F・S・C・M・B			OS・RP・MS		
年月		F・S・C・M・B			OS・RP・MS		
年月		F・S・C・M・B			OS・RP・MS		
年月		F・S・C・M・B			OS・RP・MS		
年月		F・S・C・M・B			OS・RP・MS		

*1-F:フェース、S:スラブ、C:クラック、M:マルチピッチ、B:ボルダリング *2-OS:オンサイト、RP:レッドポイント、MS:マスタースタイル

【競技履歴】

2 / 2

年	月 日	主催	大会名	カテゴリー	成績	備考
年	月 日					
年	月 日					
年	月 日					
年	月 日					
年	月 日					
年	月 日					
年	月 日					
年	月 日					
年	月 日					

【コーチ・監督・指導履歴】

年	自由表記 例) ○×国体成年男子監督、○×講習会講師 etc
年	